

SDGsは企業経営の 難易度を高めてしまうのか？

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム会員 株式会社ジーエー・タップ／+TAP



8 働きがいも
経済成長も



近年、マスコミによるSDGsの発信だけでなく

小中学校・高校・大学でのSDGsに関する教育機会も増え、

日本全体でSDGsの認知度は上昇してきています。

SDGsに少しでも関心がある企業のみなさまへ向けて、ビジネスのため、社会のために

行動を起こす1歩となるための情報「Action for SDGs」を

株式会社ジーエー・タップが連載でお届けします。

第二回目は、「働きがいも経済成長も」をテーマに

「福岡テンジン大学」学長の岩永さんにお話を伺いました。

私は現在、福岡テンジン大学というNPO法人の経営をしながら、福岡・天神地区のまちづくり団体で非常勤事務局員をしつつ民間企業数社でも働き、大学でも教員をして、行政の複数の委員を務めるなど複業の働き方をしています。17年前に大学を卒業した頃の社会は、SDGsのような概念はなく、企業もCSR活動として環境活動をしたり、NPOに寄付したりをしていた程度でした。

ところが現在では、SDGsが国際社会からの要請として、持続可能な視点が無い事業には、人もお金も集まらないようになってきました。ジェンダーに関する発言・表現が炎上しやすくなり、サプライチェーンにもSDGsの視点が入り、企業間取引にも影響するようになりつつあります。ここに現れた新型コロナウイルスの全世界への広がりから、より社会は「未来を予測するのが難しい」時代へと突入しました。さらに日本は人口減少社会に突入し、地方では人材獲得が難しくなっており、企業の経営の難易度はますます高まっていると感じます。そこで1つ提案したいのが「SDGsの経営実装」です。

2022年度までに小学校・中学校・高校の学習指導要領にSDGsが盛り込まれ、多くの大学でもSDGsに関する教育が始まっていることもあり、これからの社会を担う若き人材には、当たり前にSDGsが実装されていきます。この教育における変化が、産業界にもたらす影響は大きく、これから起こるのが「SDGsを経営実装できていない、その概念の浸透がない企業」が選択されないこと、と言えるでしょう。

とくにビジネスにおける優秀な人材ほど、自身が携わる仕事で「地域や社会に貢献できるか」の視点を持っています。つまりSDGsを企業経営に実装することができれば、「自分は仕事や会社を通じて世界に貢献できるのか」を実感しやすい環境をつくることができるでしょう。では、SDGsの経営実装とはどのようなにしたら良いのか。私が経営支援をしている株式会社スペースRデザインは、築古ビルにリノベーションやDIY、コミュニティデザインの手法で資産価値を向上させる福岡の不動産会社です。その事例を紹介します。

これまで当社では、築古ビルの管理会社と



スペースRデザインでは対話を重視した研修を実施している。

(図)スペースR デザイン 老朽賃貸の社会的価値創造モデル



(C) 2021,株式会社スペースRデザイン/吉原住宅有限会社

してリノベーションやリーシングを行うだけでなく、ビルオーナーの勉強会から入居者向けのイベントまで、幅広くコミュニティデザインの活動も行ってきました。しかし、このすぐに売上に繋がらないコミュニティ活動は、会社の中での優先順位がどうしても上がりませんでした。ここで会社の経営モデルを、SDGsを使って構築することを提案。そして出来上がったのが上の図です。これまで売上に直結する「インナービジネス」にばかり着目していた社員も、顧客創出機会となっていた「アウトタービジネス」が可視化され、その意義が浸透。さらにSDGsを「インプット」に置き、利益の投資対象としてもSDGsを位置づけることで、「自分は会社を通じて、社会の何に貢献できるのか」を、社員一人一人が実感を持ちやすくなりました。また、このモデルを浸透させていく過程で対話型研修を毎月実施、社員一人一人が意見を述べやすい環境づくりも行いました。すると、社員たちは自分で考え行動するようになり、売上も上がり、それがまた自信にも繋がるという好循環が生まれています。

SDGsが広がる現代では、これまでとは



スペースRデザインでは対話型研修でオフィスのあり方を策定し、働きやすい環境を実現。(写真提供:フクリバ)

違った経営環境になるという意味で、経営の難易度は上がっているのかもしれませんが。しかし、この世界的な潮流に乗ることで、人やお金が集まり、事業をより高みに持っていける可能性も感じています。

お問合せ先

福岡テンジン大学

URL: <https://tenjin-univ.net/>



「やりたい」を、「できる」に。

+TAP イベントのご案内

TRY AND POSSIBLE

+TAPでは、「交流と共創」をテーマに地域経済、まちづくり、SDGs推進の活性化をめざし、多彩なイベントを展開し、さまざまな企業、人とのネットワークを広げています。

Event Report

端材を使って、 世界でひとつだけのイスづくり

2021年11月28日(日)、大英産業株式会社が主催する「北九州みらいキッズプロジェクト 出張こども大工」を、小倉駅前セントシティ7階・SDGs Community「+TAP北九州」にて開催いたしました。大英産業の新築一戸建ての建築時に出土した端材を、障がい者施設 桑の実工房様のもとで加工して制作いただいた木工キットを用い、椅子の制作を行うイベントです。参加した親子の方々は、大工さんやボランティアで参加してくれた北九州市立大学の学生さんたちと一緒にイス作りにチャレンジしました。

さらに、「+TAP北九州」では、認定NPO法人フードバンク北九州ライフアゲインの協力のもと、ご家庭に眠っている食べられる食品を集めて、食品を必要としている団体やご家庭に届ける「フードドライブ」を実施。大英産業のご賛同により、常設BOXを制作いただきました。



Event Information



社会で、企業で、がんばるあなたを応援する

「Project Mariage」

vol.1 ジブンの「起源」を知る

ジブンという素材を熟知するうえで外せないパスワード「誕生日」。その誕生日と四柱推命(陰陽五行説をベースにした占術)など数種類の統計学を使って、持続可能な(本来の)ジブン像の発見の糸口を見つけましょう!

今回の講師は、(株)ボーダレスジャパンの大塚祐子さん。「あらゆる個が躍動する社会づくり」に向かって「既存の社会価値観」と「女性もつ既存の女性像を更新する!」をモットーに活動をすすめていらっしゃいます。

日時

2021年12月13日(月)
18:30~20:00

会場

+TAP大名
福岡市中央区大名1-12-57 福商会館3F
※会場でのご参加は先着20名まで

参加費

1,000円

お申込み

Peatix

<https://project-mariage-vol1.peatix.com/>



会社概要

株式会社ジーエー・タップ

事業内容:企画・デザイン全般、一級建築士事務所
<https://ga-tap.co.jp/>



イベントについてのお問合せは

+TAP大名

福岡市中央区大名1-12-57 福商会館3F
TEL.080-3969-4463 <https://plus.tap.ga-tap.co.jp/>

